

方針に対応できない業種も予想され、商工業振興補助事業などを中心に、引き続き事業者への支援を継続します。

また、商工会への運営支援に加え、事業継続力強化計画策定整備に向け、退職される事務局長に替わり職員1人を派遣し、各事業所の持続発展や新規創業を支援します。後継者不足や人材不足の問題は、異業種間で連携し雇用するなど、新たな雇用方法も情報提供を図ります。

良佳村エリアは、収支状況が改善されず、施設や設備の老朽化などにより、一般財源の充実が増加の傾向です。PRやソフト面の充実など、できることを実行して集客効果を検証します。

「良佳プラザ・遊湯びつぷ」は、宿泊部門が2017楽天トラベルブロンズアワードを獲得するなど好調が続く、利用者からも満足していただいている状況が伺えます。日帰り部門は、減少が続いている状況で、集客回復に向け、指定管理者と協議を行います。宿泊・宴会における町民利用の一部を支援する促進策は、本年度も引き続き実施し、町

民の関心と利用を高めめます。グリーンパークびつぷは、来場者の遊びのアイテムを増やすことについて検討と実行を行うなど、多くの方にご来場いただけるよう営業活動と施設管理の徹底に努めます。

びつぷスキー場は、イメージ一新やコブの初心者向けコースの新設などの効果で、新たな層の集客につなげることでできました。また、スポーツ店との連携を強化し、シーズン券の早期販売枚数が大幅に増加しました。来シーズンもファミリー層を中心に多くの方にご利用いただけるよう営業努力を重ねます。

一方で、外国人の来場が増加していることから、多言語への対応も検討していく必要があります。また、ジュニア向けのスキー大会など、多くの来場者が期待できる大会の誘致を図ります。

【住】(住まい) 快適に住み続けることができ  
るまちづくり

町営住宅は、「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、良質なストック形成に取り組み

別施設計画を策定します。沿道や第三者への被害の防止を図るための維持管理を適切に行います。

治水対策は、道費による比布川改修工事の事業促進を継続要望し、集中豪雨などによる被害の未然防止に向けて、河川の環境整備や道路排水の機能確保に努めます。

除排雪は、国・道の関係機関や委託業者と十分連携し、迅速で良好な除排雪体制の整備を図り、安全で円滑な冬期交通の確保に努めます。

なお、道道比布停車場線は、除雪により車道が危険となる場合には、必要に応じ町費での排雪作業を実施します。

簡易水道事業は、良質な水道水の安定供給に万全を期すとともに、老朽化している機械設備の更新に向けた実施設計業務を行います。

下水道事業は、ストックマネジメント計画に基づき施設の適切な維持管理に努めます。

昨年、北海道胆振東部地震が発生し、地震に伴い電力系統が全て崩壊する「ブラックアウト」により、道内は混乱に陥りました。本町は、行政

ます。新たに(仮称)東団地の建て替えを実施します。また、ふれあい団地の屋上防水改修工事を行います。

人口減少対策は、社会動態では2年連続で増加していますが、今後も様々な政策の一体的な取り組みが重要であり、制度の周知や優良物件の掘り起しを行います。

また、所有者不明の空き地、空き家についても、北海道全域の協議会や専門家とも連携しながら対策を講じていく必要があります。

若手職員の提案による「ブライダル大作戦」は、昨年度は20組のカップルが、本町オリジナル婚約届を提出されました。届出をいただいた皆様には、引き続き比布町の情報をお知らせするなど、つながりを深めます。

【安】(安心・安全) いつまでも安心して暮らせる  
まちづくり

本町の高齢化率は40%を超え、今後も冬の生活を守る「門口除雪サービス」や高齢者町内移送サービス事業「びびタク」など、きめ細やかな事業

区長や公民館館長らのご協力により、水道設備を有する行政区会館などを臨時給水所として開放することができました。また、建設業協会からは動力発電機を無償で貸与いただき、下水道施設の運転を継続させることができるなど、多くの方のご協力により、ライフラインを確保することができました。ご協力をいただきました皆様へ、改めて感謝とお礼を申し上げます。

町内の電力の復旧は、他の地域よりも比較的早く、大きな被害はありませんでしたが、町民一人ひとりが生命や財産を守るための備えをする必要があります。自主防災備品購入費補助金制度を今後2年間継続し「自助」「互助」「共助」の防災意識の啓蒙と支援を図ります。

を実施します。また、地域での共助による支えあいが必要であり、関係機関・団体の協力によるネットワーキングづくりに努め、町民主体の生活助け合い協議会「びつぷの和」の活動や、社会福祉協議会の体制強化を支援し、町民自らが描くふれあい活動を推進します。

介護保険は、保険料の上昇が避けられない状況ですが、地域で活発に活動している「ふまねっと運動」をはじめ、各種介護予防事業を充実させます。



昨年度は、市街地の空き店舗を改修し、「三平サロン」がオープンしました。今後もサロンサポーターの皆様を中心とする住民主体の運営による、交流と安らぎの

また、民間事業者との「災害時応援協定」を強化し、物資や燃料の優先的な調達など、迅速な対応が取れるよう、さらなる体制の整備・強化に努めます。

交通安全対策は、高齢者が加害者や被害者になる交通事故の件数は増加傾向にあります。残念ですが、昨年3月に町民が犠牲となりました死亡交通事故を教訓に、警察や交通安全指導員と連携し、事故防止に努めます。

また、高齢者に対する悪質な特殊詐欺などに対する防犯意識の啓蒙活動や消費者保護は、幅広い情報収集と広報紙などを通して迅速な情報提供を行い、被害の未然防止に努め、様々な機会に注意喚起を図ります。

消防行政は、近年、全国各地で大規模な自然災害や火災が相次いで発生し、北海道胆振東部地震では、甚大な被害が及ぼされました。大規模災害は、対応も複雑多様化し、各種災害に対し迅速・的確に対応することが重要です。救急業務は、1月末に納入された高規格救急車や救急資器材を活用し、適切な処置と

居場所づくりを支えます。また、認知症施策についても、町民が認知症の理解を深め、早期発見・対応・相談の支援強化に努めます。

保健事業は、特定健康診査の受診率向上、未受診者の積極的受診勧奨を働きかけ、保健師・栄養士による訪問活動を重点的に取り組み、疾病の早期発見・治療につなげます。

母子保健は、妊婦健診の無料化や乳幼児健診、不妊治療費助成など、母子保健の充実や「いちごっこヘルスアップ健診事業」を継続実施し、将来を担う子ども達の健やかな成長を支えます。

昨年度から指定管理者制度に移行した「町立診療所びつぷクリニック」は、看護師の雇用情勢など厳しい課題がありますが、町の医療提供体制を保持し、運営支援を図る必要があります。入院棟は、厳しい経営状況にあり、存続できるよう引き続き経営支援の強化を図り、経営改善対策を講じます。医療機器や設備も、経年劣化による更新が必要であり、安全な医療提供のため適正な導入支援が必要となります。

迅速な医療機関への搬送やドクターヘリとの連携が必要とするため、危機管理体制の強化を図り、職員の教育研修や訓練を積み重ね、災害や救急業務に対応できるよう職員の資質向上に努めます。

また、消防団を中心に地域防災力の強化が図られるよう、不足する団員の確保に努め、研修や訓練を通して消防団の強化を進めます。



基本方針の達成を  
確実なものにするための  
基本的な取組み

大きな4つのテーマを解決する手段としての個別事業は、本年度策定する「まち・ひと・しごと総合戦略」及び各年度の予算編成で十分議論し、その時点で最も有効な財

